

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成28年7月分】

平成28年7月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の補填金単価（概算払）については、下記のとおりです。

記

販売月	肉専用種 (地域算定)
平成28年7月	一円

注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)

連絡先 価格対策部 第1課 担当：函師、田中 電話：0985-41-9305

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成28年7月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,258,678
生産コスト (B)	1,027,661
差額 (C) = (A) - (B)	231,017
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—
補填金単価 (概算払) (D) - 4,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,258,678
主産物価格 ① = a × b	1,249,344 ※
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,592 ※
枝肉重量 (kg) b	482 ※
副産物価格 ②	9,334
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,027,661
物財費 ③	934,742
もと畜費	570,144 ※
飼料費	299,721
流通飼料費	298,654
麦類	10,417
とうもろこし	10,324
ふすま	9,650
かす類	8,114
配合飼料 (暫定値)	211,895
稲わら	24,152
その他	24,102
牧草・放牧・採草費	1,067
敷料費	11,422
光熱水料及び動力費	9,750
その他の諸材料費	229
獣医師料及び医薬品費	7,438
賃借料及び料金	3,996
物件税及び公課諸負担	4,985
建物費	11,798
自動車費	5,150
農機具費	8,606
生産管理費	1,503
労働費 ④	68,655
家族	62,913 ※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,003,397
支払利子 ⑥	13,330
支払地代 ⑦	460
と畜経費 ⑧	10,474

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

※ 県独自に算定を実施。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場、名古屋市中央卸売市場、西宮市食肉地方卸売市場、姫路市食肉地方卸売市場、兵庫県加古川食肉地方卸売市場、佐世保市地方卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

中央家畜市場（佐賀県）、平戸口中央家畜市場、球磨家畜市場、熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、南那珂地域家畜市場、都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、児湯地域家畜市場、延岡家畜市場、高千穂家畜市場、宮崎中央農業協同組合家畜市場、薩摩中央家畜市場、始良中央家畜市場、曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、与論家畜市場、南部家畜市場、宮古家畜市場、八重山家畜市場、今帰仁村家畜市場、久米島家畜市場、多良間家畜市場